

授業科目名・形態	社会福祉概論 I 講義	必修・選択の別	選択※	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操・ 高木さひろ	実務経験の有無	無	開講期	1年前期

※看護学科必修

【授業の主題】

現代社会における社会福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。福祉の原理や哲学を理解し、福祉の歴史的・社会的な意義と目的、福祉政策を踏まえて福祉システムを理解する。社会福祉の理念や制度は憲法第 25 条の理念を基礎に形成されてきたことを踏まえ、福祉政策としての社会福祉の今日の問題や課題について考える。また、医療・介護・福祉・教育等生活者が抱える課題を認識するための方法と、社会福祉の共通の専門基礎知識と技術について学ぶ。この学びを通して福祉人として児童・子育て支援や高齢者・障害者の生活支援、介護・看護・教育場面などの様々な援助場面における課題解決に向けた援助者としての基礎的能力を養う。

【到達目標】

1. 社会福祉を正しく理解するために、社会福祉学固有の研究・認識方法を理解する。
2. 社会福祉の原理を巡る諸理論と福祉の哲学、価値論について理解する。
3. 社会福祉制度・政策の課題について理解する。社会福祉の理念や目的、具体的なサービスの供給と利用のシステムについて理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 福祉の視点と枠組み（福祉の新たな展開と福祉政策理解）（中里）
- 第 2 回 福祉を学ぶ視点と枠組み（社会福祉の本質と認識・研究方法）（中里）
- 第 3 回 社会の変化と福祉①（市民権の確立、福祉国家の成立と変容）（中里）
- 第 4 回 社会の変化と福祉②（現代社会の変化と福祉）（中里）
- 第 5 回 福祉と福祉政策①（福祉の価値規範と福祉の拡大・限定）（中里）
- 第 6 回 福祉と福祉政策②（福祉政策の変容と社会福祉士の役割・機能）（中里）
- 第 7 回 社会政策と福祉政策①（社会政策の中の福祉政策）（中里）
- 第 8 回 社会問題と社会構造①（現代の社会問題）（中里）
- 第 9 回 社会問題と社会構造②（社会問題の構造的背景）（高木）
- 第 10 回 福祉政策の基本的視点①（福祉政策とは、社会政策は？）（高木）
- 第 11 回 福祉政策の基本的視点②（福祉政策における重要概念）（高木）
- 第 12 回 福祉政策におけるニーズ①（ニーズとは、）（高木）
- 第 13 回 福祉政策におけるニーズ②（ニーズとデマンド、ニーズの種類）（高木）
- 第 14 回 福祉政策におけるニーズ③（行政需要と行政ニーズ）（高木）
- 第 15 回 福祉政策における資源（福祉資源とは、資源供与・活用の仕組み）（高木）

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

前回の講義内容を復習する。講義予定内容を読み、専門用語など解らないこと、疑問点などを整理しておく。講義中に取り上げたテーマなどを自ら文献に当たるなどして確認する。社会福祉関連のニュースに関心を寄せ、自分なりの理解と説明ができる状態で主体的に学習の準備をする。

【主な関連する科目】

社会学、公的扶助論、社会保障論、福祉行財政と福祉計画

【教科書等】

最新・社会福祉士養成講座『社会福祉の原理と政策』 ミネルヴァ書房

【参考文献】 適宜紹介する。

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、提出レポート 20%、期末試験の成績 70%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

社会福祉に関する基盤となる科目です。自分の生活に重ね合わせながら、地域社会の中で起きている福祉問題に関心を寄せてください。事象の奥にある見えない要因を探ってください。講義は板書を中心に行うので、しっかりノートをとることが大事です。しっかり講義を聴きノートをとることによって教科書の行間のメッセージまで理解できる力をつけて下さい。